

個別施策

- E9-1 将来にわたって持続可能な事業運営を推進します
- E9-2 どんなときにも安定給水できる体制を整えます
- E9-3 だれもが安心して飲める、安全でおいしい水を供給します

ア 施策の目的

水道水が、安全で安心して飲める水として安定的に供給されている

イ 基本施策の評価

B b 目標をほぼ達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
長崎市の水は安全で安心して飲めると感じる市民の割合	81.9% (26年度)	↑ 目標値	82.0	83.0	84.0	85.0	85.0	85.0
		実績値	79.9	78.9	80.0	80.9	78.7	80.3
		達成率	97.4%	95.1%	95.2%	95.2%	92.6%	94.5%
基幹管路の耐震化率（R3年度施策評価時に追加）※	37.6% (26年度)	↑ 目標値	40.1	42.6	45.0	47.5	50.0	53.3
		実績値	47.4	50.1	54.0	54.5	55.9	56.4
		達成率	118.2%	117.6%	120.0%	114.7%	111.8%	105.8%

※ 近年の災害の甚大化に伴い、「安全安心な水」に加え、「安定的な供給」についてより市民の意識が高まっていることに鑑み、基幹管路の耐震化率について成果指標を追加したもの

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

(1) 安心・安全な水の供給について、アセットマネジメントシステムの構築は重要であるが、点検技術の向上や、漏水箇所がどんどん増えていく中で優先順位をどう定めていくかについて、政策上考えていく必要があるのではないか。